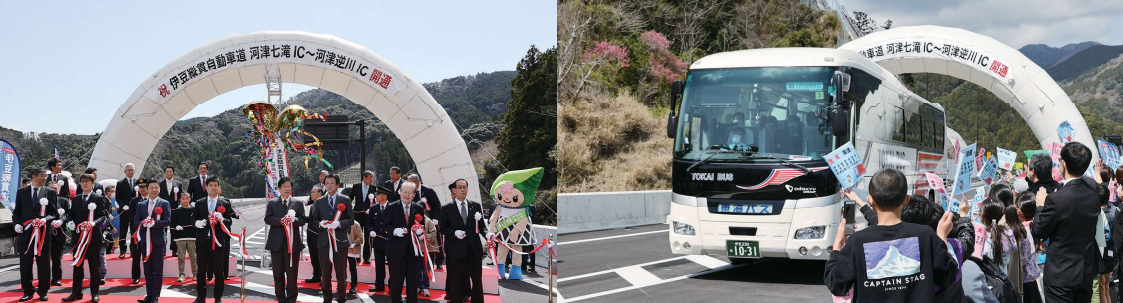




「命の道」

伊豆縦貫自動車道だより

問合せ先 建設課伊豆縦貫道係 ☎2219

幸いですが、伊豆縦貫自動車道をご利用していただけたら

はじめ、多くの方々に、伊豆縦貫自動車道をご利用していただけたら

開通式を盛り上げました。今回の開通区間をはじめ、多くの方々に、伊豆縦貫自動車道をご利用していただけたら

松本市長は、「伊豆縦貫道によって本当の意味で、美しい一つの伊豆になると確信した」と謝辞を述べました。

川勝県知事は、挨拶の中で「伊豆縦貫道は命の道であり、伊豆縦貫道全線が一日でも早く完成することを願っている」と、今回の開通並びに早期全線開通に期待を寄せました。

3月19日(日)15時、「伊豆縦貫自動車道国道414号河津下田道路Ⅱ期 河津七滝IC～河津逆川IC(延長3キロ)」が供用開始されました。当日は、開通に先立ち、開通式典を河津中学校体育館、納入・通り初めを河津七滝IC内で執り行いました。

開通式典では、天城連峰太鼓による記念演奏が行われ、川勝県知事をはじめ、国會議員、伊豆・東部地域の首長、事業関係者や地権者を含め約150人が出席しました。



河津下田道路(Ⅱ期)
河津七滝IC～河津逆川IC開通



記念演奏(天城連峰太鼓)

- [H24.4] 河津下田道路(Ⅱ期) 事業化
- [H27.3] 起工式・記念イベント
- [R3.9] 河津桜トンネル 貫通
- [R5.3.19] 河津七滝IC～河津逆川IC 供用

Ⅱ期区間河津トンネル起工式



河津下田道路(Ⅱ期)

これまでの歩み

※ () 書きのIC名は仮称

防災かわら版

問合せ先 防災安全課防災係(窓口⑩) ☎364145

～自主防災組織についてご紹介します～

自主防災組織とは、地域の住民が主体となって防災活動を行う組織のことです。大規模災害時には、建物の倒壊や道路・水道の損壊など被害が広範囲に及ぶため、行政、消防、警察、自衛隊といった「公助」には限界があります。そのため、自らの命は自ら守る「自助」、自分たちの地域を自分たちで守る「共助」は重要な役割を担っています。平常時の活動としては、防災訓練の運営だけではなく、災害時に使用する資機材の点検や学校施設との連携など、地域を守るための活動を行っています。



災害が起こった際には、初期消火活動や避難誘導、避難所の開設・運営などを行います。阪神淡路大震災の時には、地域住民による救出・救助活動が行われ、多くの人命が救われました。また、倒壊した家屋から救助された人のうち、約8割が家族や隣人からの救出とされています。地域での防災活動には、自主防災組織の働きが欠かせませんが、地域住民の方々の協力の下で活動が成り立ちます。自主防災組織と協力しながら、地域の防災力を高めていきましょう。

自主防災組織と消防団との連携

消防団は地域住民が防災活動の担い手となる公共機関として位置づけられた歴史ある組織です。防災活動に必要な訓練や経験を積んだ団員で構成されており、消防団員は、普段は他の職業や学業に就く非常勤特別職の地方公務員です。自主防災組織の活動をサポートしたり、災害時に連携したりすることで地域の防災力を支えています。

助けあい、支えあう
「年金」こそ
とても大事



近くて便利な年金相談

年金相談では、三島年金事務所、遺族年金の請求や、年金見込額の照会などの手続を行います。年金制度や年金請求手続等について相談のある方はぜひご利用ください。

年金相談のメリット

厚生年金に関する手続は三島年金事務所に行くか、郵送するしか方法がありませんが、出張年金相談は市内で直接年金事務所の職員とやりとりできるので安心、便利です。年金制度全般についての質問や、年金の請求、将来受け取る年金額の照会など、年金に関するものであればたい

～下田市出張年金相談日程表～

相談受付時間 9時～14時		実施日		場 所
4月	12日(水)	4月	12日(水)	市民文化会館
5月	11日(木)	5月	11日(木)	道の駅開国下田みなど
6月	8日(木)	6月	8日(木)	道の駅開国下田みなど
7月	5日(水)	7月	5日(水)	市民文化会館
8月	3日(木)	8月	3日(木)	市民文化会館
9月	7日(木)	9月	7日(木)	市民文化会館

申込・問合せ先

市民保健課国保年金係
(窓口③) ☎23922

年金相談に関する一般的な問い合わせは、「ねんきんダイヤル」もご利用ください。
☎05701051165

年金相談時に必要なもの
身分証明書・印鑑・年金手帳等
※その他必要書類については予約時にお伝えします。

このことが出張年金相談で行えます。
特に、高齢厚生年金や遺族年金を請求する場合などにぜひ、ご利用ください。
※予約が必要ですよ。